



令和4年度「ぐんまふるさと納税」 寄附金活用結果のご報告

令和4年度は「ぐんまふるさと納税」に、1,053件 72,140,800円のご寄附をいただきました。あらためまして、厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいた寄附金は、皆様にお選びいただいた寄附メニューに合わせて活用させていただきましたので、ご報告いたします。

今後も、群馬県を更に輝かせ、県政の最大のミッションである「県民の幸福度向上」を実現させるため、積極的な取組を進めて参りますので、引き続き、群馬県に対して温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■令和4年度「ぐんまふるさと納税」申込状況一覧

(単位：件数=件、金額=円)

	寄附メニュー	寄附件数	寄附金額
1	あたらしい熱源、湯けむりフォーラム	37	390,000
2	ぐんまちゃんのイベント出動支援	80	1,444,000
3	イノベーション創出拠点の支援	16	170,000
4	グローバル始動人テイクオフ事業	4	40,000
5	子どもたちへの文化芸術体験事業	67	726,000
6	世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等の保存活用	39	436,000
7	ぐんまのアスリート支援	12	150,000
8	ぐんま県境稜線トレイル活用促進	5	50,000
9	子育て支援一般	99	1,044,000
10	児童虐待防止対策	11	110,000
11	困難を抱える子ども・若者支援	33	398,000
12	中学生までの子ども医療費無料化	13	228,000
13	ぐんまの動物愛護推進	176	43,466,800
14	ぐんま県民の健康づくり応援	3	30,000
15	至仏山植生回復事業	9	105,000
16	尾瀬保護対策一般	24	314,000
17	ぐんま緑の県民基金	9	5,080,000
18	ぐんまの中山間農業応援	5	84,000
19	ヒルクライム開催支援事業	70	7,124,000
20	孺恋高校修学支援（スケート競技）	1	10,000
21	新型コロナウイルス感染症対策関連	3	4,530,000
22	ぐんまウクライナ支援官民協働プロジェクト	31	638,000

23	ぐんまマラソン開催支援事業	11	350,000
24	県政一般	142	2,481,000
25	プロによる学童クラブ&高校パソコン部でのデジタルスキル指導	14	537,000
26	災害派遣トイレネットワークみんな元気になるトイレ	137	2,185,000
27	県内の中高生たちにもっと自由な発想を養う機会を提供したい	2	20,000
	合計	1,053	72,140,800

※25、26及び27は、ガバメントクラウドファンディング案件であり、既に寄附者の皆様へ事業結果報告を実施しているため、本報告の対象外とします。

※寄附金は寄附者の意向に沿った事業の財源に充当しておりますが、寄附金額が事業費を超える場合などは、意向に近い別事業に充当させていただいております。

《参考》年度別寄附申込状況（直近2年間）

（単位：件数=件、金額=円）

	令和2年度	令和3年度
件数	1,298	822
金額	30,245,843	20,527,011



あたらしい熱源、湯けむりフォーラム

件数：37件 金額：390,000円

【事業内容】

湯けむりフォーラムは人々の情熱を発信する、群馬県のあらたなプロジェクトです。令和4年度は、最新の議論を行うトークセッションや感性を刺激するクリエイティブプログラムを通して新たな価値を創り出し政策の実行を決定する総合カンファレンスイベント「湯けむりフォーラム2022」を群馬県草津町でリアル開催しました。

また、年間を通して地域の「いま」を丁寧に取材したレポートや、地域に根付く文化や伝統を見つめ直して記録するアーカイブ動画など、さまざまなコンテンツを作成・発信しました。作成したコンテンツは湯けむりフォーラム公式ホームページからご覧いただけます。

URL (<https://yukemuriforum-gunma.jp/>)

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、湯けむりフォーラムのコンテンツ制作費用に充てさせていただきました。令和4年度は、動画29本、テキスト12本、イベント41本を制作しています。

引き続き、熱量のある多様なコンテンツを制作するとともに、多くの方が始動するキッカケとなるプラットフォームづくりを進めます。

◎令和4年度に作成したコンテンツ例



「知事×河野太郎デジタル大臣トークセッション」
「湯けむりフォーラム 2022」で行われた山本知事と河野太郎デジタル大臣のトークセッション



「熱源な人 本の家」
絵本屋を営みながら「たかさき絵本フェスティバル」を創設し、子育て支援活動も行う「時をつむぐ会」の續木美和子さんの取組をレポート



ぐんまちゃんのイベント出動支援

件数：80件 金額：1,444,000円

【事業内容】

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」とぐんまちゃんキャラバン隊が、県内外で開催されるイベントへの参加や、SNS 発信等を通して、本県のPRを行っています。

さらに、県内の子どもが幼児期から郷土への愛着を育むことを目的として、ぐんまちゃんが県内幼稚園等を訪問し、園児と一緒にダンスやクイズを行う活動を実施しています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、群馬のイメージアップ事業である「ぐんまちゃんキャラバン隊」の活動費に活用させていただきました。

長引く新型コロナウイルス感染症の流行により、集客型イベントでのぐんまちゃんの活躍機会が減少しておりましたが、徐々に全国各地でのイベントも再開し、ぐんまちゃんのPRを行うとともに、自主イベントとして「ぐんまちゃん夏まつり 2022」などを実施しました。



ぐんまちゃん夏まつり 2022



幼稚園等訪問事業



イノベーション創出拠点の支援

件数：16件 金額：170,000円

【事業内容】

新たなビジネスや地域づくりにチャレンジする人が集まるイノベーション創出拠点として、北関東一帯を眺望する群馬県庁 32 階に設置した官民共創スペース「NETSUGEN」。デジタル技術を活用してアイデアを形にしたい人と事業の発展をめざす企業家、それを支援する人や事業者が集まり交流する場です。アイデアを核に、解決すべき地域課題、人材、デジタル技術、知識などが集積・結合して、新たなイノベーションが次々と生み出され、社会の変革につながる好循環が形成されることをめざします。

【寄附金の活用結果】

NETSUGEN の利用は会員制としており、令和 4 年度は総会員数 3,415 名、月額法人契約 65 社、月額個人契約 65 名となりました。会員によるワーキング利用は 5,352 回、セミナーやイベント等も 350 回開催され、多くの会員にご利用いただき、様々な交流が始まりました。令和 5 年度は、更なる可能性の創造と発展をめざし、県庁前広場や県庁 31 階マルシェ、また各地域にコミュニティを持つ施設との連携や、BarNETSUGEN などの新たな会員交流イベントの実施を進めて参ります。



官民共創スペース NETSUGEN



NETSUGEN セミナー



グローバル始動人テイクオフ事業

件数：4件 金額：40,000円

【事業内容】

群馬県では、世界に目を向け自ら考え動き出す「グローバル始動人」の育成に取り組んでいます。県内の高校生や大学生等の若者を対象に、世界を意識する様々なコンテンツに触れ、世界を肌で感じる機会を提供しています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、県内の高校生や大学生等を対象として、世界で活躍する講師とのトークセッションや、グローバルな視点で情報発信を行うスキルを身に付ける「世界

発信力向上講座」を実施しました。

また、世界に向けて自分の考えを発信するきっかけ作りとして、群馬県の魅力を英語で伝えるプレゼンコンテスト「グローバル始動人プレゼンアワード2022」を開催しました。



グローバル始動人テイクオフ事業ポスター



プレゼンアワードの様子



子どもたちへの文化芸術体験事業

件数：67件 金額：726,000円

【事業内容】

群馬交響楽団は、定期演奏会や小中高校生への移動音楽教室などの演奏会で県民の皆様が生のおもてなしを提供することを通じて、音楽の素晴らしさを実感してもらうため、活動を行っています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、子どもたちを対象にした夏休みコンサートを開催しました。前年度の反響を受け、令和4年度は公演回数を2回に増やし、家族連れをはじめとする多数のお客様にご来場いただき、成功させることができました。



2022 群馬交響楽団夏休みコンサートのチラシ



コンサートの模様



世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等の保存活用

件数：39件 金額：436,000円

【事業内容】

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を契機に、絹に関する文化や産業への関心が高まっています。群馬県では、世界遺産構成4資産をはじめ、ぐんま絹遺産や日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」を将来の世代に確実に引き継ぐため、保存管理や周辺環境の整備、普及啓発活動などを行っています。また、地域全体で遺産と絹文化を守り、それらを活用した地域づくりを推進するとともに、県民の皆様が地域の価値を再認識するための活動支援を行っています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は「群馬県世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金」に積み立て、世界遺産構成4資産の保存修理・整備工事をはじめ、ぐんま絹遺産及び日本遺産に係る修復事業や周辺環境の整備等に活用させていただきました。今後も世界遺産や絹遺産の情報発信と保存活用、それらに携わる人材の育成など、絹文化や絹産業への関心をさらに高め、県内絹遺産の価値を継承していく取組に活用させていただきます。



富岡製糸場煙突（画像提供：富岡市）



桐生新町重伝建地区（矢野・有鄰館）
（画像提供：桐生市）



ぐんまのアスリート支援

件数：12件 金額：150,000円

【事業内容】

令和3年度に、新規事業として「ぐんまプレキッズ」を立ち上げました。本事業の目的は、将来のトップアスリートを発掘・育成することです。令和4年度は高崎・太田・沼田の3地区に拡充しました。運動能力の高い県内の小学3年生約130名と4年生約50名を選考し、1年間継続してトレーニングを実施しました。トレーニングは、幼少期でしか獲得できないと言われる巧緻性や俊敏性等を高めるものであり、全てのスポーツに通じる内容です。本事業参加者が、将来、オリンピックや国際大会等で本県ゆかりの選手として活躍することが期待されています。

【寄附金の活用結果】

2年目の事業ということもあり、トレーニング用具の購入が必要でした。寄附金を活用し、必要な用具を揃えられたことで、十分なトレーニングを実施することができました。子どもたちは、毎回の練習に一生懸命に取り組み、1年後の体力測定では、自身の記録を大きく更新しました。

令和5年度からは、高崎会場を拡充し県内4ヶ所に拠点を増やすことで、多くのジュニア選手が活動しています。



「ぐんまプレキッズ」に参加する子どもたち



ぐんま県境稜線トレイル活用促進

件数：5件 金額：50,000円

【事業内容】

ぐんま県境稜線トレイルは、群馬と新潟、長野の県境稜線100kmを主要ルートとしたトレイルで、稜線を繋ぐものとしては国内最長のロングトレイルです。

稜線上には日本百名山、二百名山に数えられる山々があり、ぐんま県境稜線トレイルと周辺の間々の登山道を組み合わせることで、初心者から上級者まで幅広い年齢・レベルの方が山歩きを楽しめます。

また、周辺には多くの温泉や歴史遺産等の観光スポットもあり、魅力的な山岳観光を楽しむことができます。

群馬県では、こうした豊かな自然や山嶺にある既存の観光資源を活用して、更なる地域の活性化に取り組んでいます。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、令和元年度に新設したムジナ平避難小屋の修繕や、登山者が遭難等により救助要請する際に正しく自分の位置を伝えるための「位置ナンバープレート」の作成、新規開通区間である「三坂峠～白砂山」までの登山道刈払事業に活用させていただき、安心して山を楽しむことができるよう環境整備を進めて参りました。



ぐんま県境稜線トレイル



子育て支援一般

件数：99件 金額：1,044,000円

【事業内容】

群馬県では、県内で家族を増やし、子育てをする多子世帯の経済的負担を軽減するために、認可保育所・認定こども園等を利用する第3子以降の3歳未満児の保育料を無料化している市町村に対し、その財源を補助する事業を行っています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、3人以上の子どもを産み育てる家庭に対する支援制度の財源の一部として活用させていただきました。



外遊びする子どもたち



児童虐待防止対策

件数：11件 金額：110,000円

【事業内容】

児童相談所や市町村に寄せられる児童虐待の件数は年々増え続け、児童虐待は社会全体で解決すべき喫緊の課題となっています。

群馬県では、11月の児童虐待防止推進月間を中心に、児童虐待防止への意識啓発を図るため『オレンジリボンキャンペーン』を実施するなど、児童虐待防止対策に取り組んでいます。

また、令和3年4月に施行された「群馬県虐待から子どもの生命と権利を県民全体で守る条例」に基づき、虐待から子どもの生命を守り、子どもの権利が尊重される社会を実現するため、児童虐待の根絶に取り組んでいます。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、『オレンジリボンキャンペーン』での広報啓発活動や児童虐待等に関する相談活動に活用させていただきました。

STOP! 児童虐待

オレンジリボンキャンペーン

出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、
市町村・児童相談所へお気軽にご相談ください。

電話相談窓口 (24時間365日対応)

児童相談所全国共通ダイヤル

189 (いちばやく)

こどもホットライン24

0120-783-884

携帯電話からは027-263-1100

LINE相談窓口

ぐんまこども・子育て相談

相談対応時間

月～金曜日

9時～17時

(祝日を除く)



オレンジリボンキャンペーン啓発
ポケットティッシュ



困難を抱える子ども・若者支援

件数：33件 金額：398,000円

【事業内容】

子ども・若者が抱える困難な状況は、経済的な困窮、いじめ、不登校、ひきこもり等複雑で多岐にわたるものです。これら様々な理由により高校を中退した子どもや、中学を卒業したものの進路が決まっていない子どもが、不安を解消し、再学習や就労など社会的自立に向けた新たな一歩を踏み出せるよう、支援を行っています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、高校中退者や進路未定の中学校卒業者一人ひとりの状況に応じた寄り添い型の支援や子ども・若者の自立支援ガイドの作成に活用させていただきました。

子ども・若者の自立支援ガイド（支援者の皆さんへ）
発達特性がある子ども・若者の支援

～ ライフステージに応じた切れ目ない相談・支援の実現に向けて ～

相談・支援機関による連携の取組

【乳幼児期～学齢期】



本人や親御さんを真ん中に、私たち支援者が
チームになって支え、支え合ひましょう！

群馬県子ども・若者支援協議会

子ども・若者の自立支援ガイド



学校を離れてしまった子ども
・保護者向けパンフレット



中学生までの子ども医療費無料化

件数：13件 金額：228,000円

【事業内容】

少子化が進む中、子どもを育てやすい環境づくりが求められています。

群馬県では、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、県内どこに住んでいても、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう、市町村と協力して、中学校卒業までの子どもの医療費の助成を行っています。

入院・通院ともに中学校卒業までを対象とする本県の助成制度は、所得制限や受診時における窓口での自己負担のない、手厚い制度です。

なお、令和5年10月1日から、県内全域にて対象を高校生世代まで拡大し、今まで以上に充実した制度となる予定です。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、子ども医療費助成事業の財源の一部として活用させていただきました。



小児科を受診する子ども



ぐんまの動物愛護推進

件数：176 件 金額：43,466,800 円

【事業内容】

群馬県では、人と動物が共生できる豊かな社会の実現に向けた動物愛護の推進に関する様々な取組を実施しています。

その1つとして、飼い主のいない猫対策支援事業では、殺処分減少を目的に地域での野良猫の繁殖防止と環境保全活動（いわゆる「地域猫活動」）の支援を県獣医師会や動物愛護団体と協力して行っています。

また、犬猫の譲渡推進に関する取組にも力を入れています。県内の譲渡希望者だけでなく、動物愛護団体と協力・連携しながら、広域での適正な譲渡を実施しているほか、県動物愛護センターで譲渡を待つ間、病気・ケガの治療や疾病予防対策などの健康管理を行うなど、希望者が安心して譲渡を受けられる環境づくりに努めています。

【寄附金の活用結果】

飼い主のいない猫対策支援事業では、皆様からお寄せいただいた寄附金を活用して、令和4年度は地域で管理する猫20匹に不妊去勢手術を実施することができました。また、譲渡事業では、動物愛護センターでの犬猫の病気・ケガの治療や健康管理に必要なワクチン、寄生虫駆除薬等の動物用医薬品のほか、離乳前の子猫を育成するためのペット用品の購入等に活用させていただき、県動物愛護センターが保護収容した犬猫508匹を、新しい飼い主へ譲渡することができました。



希望者とお見合いで抱っこされている猫



哺乳瓶でミルクを飲んでいる子猫



ぐんま県民の健康づくり応援

件数：3件 金額：30,000円

【事業内容】

群馬県では、生活習慣病を予防し、健康寿命を伸ばすことを目的として、若い世代や働き盛り世代が楽しく自主的に健康づくりを行えるよう、健康ポイント制度を創設し、群馬県公式アプリ「G-WALK+」を活用した健康づくりを推進しています。

「G-WALK+」は、スマートフォンを持って歩くだけで簡単に歩数が記録できるほか、日々の体重や食事なども記録することができるヘルスケアアプリです。健康づくりの取組でポイントが付与され、抽選で、健康関連商品や体験型プログラム等のインセンティブを提供し、健康づくりを後押ししています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、県公式アプリ「G-WALK+」のインセンティブとなる健康関連商品の購入やアプリを活用した企業対抗戦の開催等に活用させていただきました。



県公式アプリ「G-WALK+」



R4年度企業対抗戦のチラシ



至仏山植生回復事業

件数：9件 金額：105,000円

【事業内容】

尾瀬国立公園の西端に位置する至仏山は、高山植物の宝庫であり、日本百名山にも数えられ、多くの登山者に親しまれています。しかし、長年にわたる登山の影響により、登山道周辺の植生荒廃や裸地化などの問題が生じています。至仏山の保全是、尾瀬を守り続ける上で重要な課題の一つです。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、至仏山の荒廃防止対策として、登山道の補修や周辺の植生回復作業を行うことができました。



植生回復の経過観察



登山道外への踏み出し防止柵の設置



尾瀬保護対策一般

件数：24件 金額：314,000円

【事業内容】

美しい景観と貴重な生態系が保たれている尾瀬国立公園には、毎年多くの登山者が訪れます。尾瀬の自然を守り、登山者の安全を確保するために、群馬県は関係者と連携して登山道の整備を行っています。

尾瀬における工事には、ヘリコプターでの資材運搬や多雪による破損の補修等、山岳地ならではの特殊事情により多くの経費がかかります。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、県管理木道の補修などを行い、尾瀬を訪れた登山者の方のために、安全な木道を整備することができました。



階段の踏み板更新



木道の更新



ぐんま緑の県民基金

件数：9件 金額：5,080,000円

【事業内容】

県土面積の3分の2を占める群馬県の森林は、豊かな水を育み、災害を防止するなど私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらす県民共有の財産です。しかし、適正に管理が行われずに放置された森林は、これらの機能を十分に発揮できず、土砂災害発生などの危険性も高まります。

群馬県では、この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、目標である「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり」と「里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」の実現に向けて、ぐんま緑の県民基金事業による様々な施策に取り組んでいます。

【寄附金の活用結果】

ぐんま緑の県民基金事業では、皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、災害に強い森林づくりのため、経営が成り立たない奥山の森林等の整備を実施しました。

また、ボランティア団体等による里山・平地林の整備により、野生獣類の出没抑制や道路脇の森林整備による通行の安全確保など、安全・安心な生活環境の改善に向けた取組や、児童生徒などを対象とした森林環境教育の推進、貴重な動植物の生息域を保護する活動も実施しました。



森林環境教育の様子



整備された森林の様子



ぐんまの中山間農業応援事業

件数：5件 金額：84,000円

【事業内容】

群馬県の中山間地域には、風光明媚な景観と全国的にも有名な温泉地があり、県内外から多くの観光客が訪れています。果物の栽培も盛んで、完熟したリンゴなどを直接購入できる果樹園がたくさんあり、観光資源のひとつとなっています。しかし、近年では、地球温暖化による気候変動が激しく、農業者からは厳しい生産環境下でも安定して高品質な果実が生産できる品種の開発や栽培方法の改良が求められています。

群馬県農業技術センター中山間地園芸研究センターでは、中山間地域農業の振興を図るべく、リンゴやブルーベリーの県オリジナル品種の育成や栽培試験を行っており、これまでにリンゴ「陽光」

「ぐんま名月」など8品種、ブルーベリー「おおつぶ星」など3品種を世に送り出してきました。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、本県のリンゴオリジナル品種「紅鶴」と「おぜの紅」の安定生産技術開発等に活用しました。両品種ともに果皮は鮮やかに着色し、食味の良いリンゴです。寄附金を活用し、「紅鶴」と「おぜの紅」の安定生産を可能にする栽培方法について検討したところ、成果を得ることができました。得られた成果については、講習会や各種研修会などを通じて、生産現場へ情報提供し、技術の普及を図っていきます。



「紅鶴」



「おぜの紅」



ヒルクライム開催支援事業

件数：70件 金額：7,124,000円

【事業内容】

群馬県内で開催される「榛名山ヒルクライム」及び「まえばし赤城山ヒルクライム」は県内外から多くのサイクリストが参加する県内最大級の自転車イベントです。

一般道を利用したイベントであることから、適切な道路環境整備を行うことが重要です。

【寄附金の活用結果】

令和4年度は、「榛名山ヒルクライム」「まえばし赤城山ヒルクライム」の両イベントとも開催されました。開催にあたり、両イベントのコースとして使用されている道路の除草費用に活用させていただきました。



道路の除草状況（渋川松井田線）



道路の除草状況（前橋赤城線）



孀恋高校修学支援(スケート競技)

件数：1件 金額：10,000円

【事業内容】

孀恋高校は、群馬県の北西部に位置する、1学年64人定員の小さな学校ですが、2人のメダリストを含む6人のオリンピックスケート選手を輩出するなど、スピードスケートの強豪校として全国で広く知られています。

群馬から世界に羽ばたくアスリートを育成するため、県内外から生徒を受け入れています。

【寄附金の活用結果】

お寄せいただいた寄附金は、下宿しながら充実した高校生活を送っている、将来有望な選手への支援として、大切に活用させていただきました。



ショートトラックトレーニング



自転車トレーニング



新型コロナウイルス感染症対策関連

件数：3件 金額：4,530,000円

【事業内容】

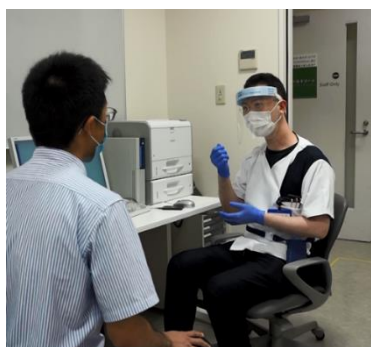
令和4年4月から令和5年1月末までの間、休日・夜間において新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた医療機関に対して、受入実績に応じて支援金を交付しました。

本事業は、受入負担が大きい休日・夜間に新型コロナウイルス感染症患者等の入院及び受診の対応を行う医療機関を支援することで、医療機関の職員の負担を軽減するとともに、休日・夜間に新型コロナウイルス感染症患者等が円滑に入院及び受診できる体制を整備することを目的とし実施しました。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は「休日夜間救急受入医療機関支援事業」の財源の一部として活用しました。本支援金は、休日・夜間に新型コロナウイルス感染症患者等の入院及び受診の対応を行った群馬県内の医療機関（49機関）に交付され、交付された医療機関において休日に1,426人、夜間に1,056人の患者を受け入れました。また、職員の処遇改善、勤務環境改善に活用され、円滑な

医療提供体制の整備に寄与しました



診察の様子



集中治療室の様子



ぐんまウクライナ支援官民協働プロジェクト

件数：31件 金額：638,000円

【事業内容】

現在、ウクライナでは民間人を含む多くの犠牲者が出ており、さらに、国外等への避難を余儀なくされるなど、多くの方が深刻な危機に直面されています。

群馬県では、ウクライナから県内へ避難されてきた方々に対する生活支援等を行い、避難民の方々が県内で安心して暮らせるようサポートしています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、ウクライナ避難民の方々に対する生活支援等を行うための財源の一部として活用させていただきました。



ウクライナ国旗



ぐんまマラソン開催支援事業

件数：11件 金額：350,000円

【事業内容】

「ぐんまマラソン」は毎年11月3日の文化の日に、群馬県前橋市敷島町の正田醤油スタジアム群馬をメイン会場として、前橋・高崎市内のコースを走ります。

種目は「フルマラソン」「10kmマラソン」「リバーサイドジョギング」の3つで、総数15,000名の選手が参加する県内最大規模のマラソン大会です。

本大会では、「走る・支える・応援する」をテーマに、誰もが楽しみ、「自然・食・歴史文化・温泉」といった群馬の魅力を味わえる大会準備に活用します。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、参加する選手に配布する大会プログラムやTシャツなどの「参加賞」のほか、給水所や給食所で提供する水等の資材、円滑な競技運営のために必要不可欠な警備員の配置や交通規制等のコース整備、また選手を温かく迎えるボランティアに対するジャンパー等の支給に活用させていただきました。

なお、寄附いただいた方々へ「フルマラソン出走権」を返礼品として提供し、大会に自ら参加することで群馬の魅力を楽しんでいただきました。



手を振るランナーたち



県政一般

件数：142件 金額：2,481,000円

【事業内容・寄附金の活用結果】

群馬県を更に輝かせ、県政の最大のミッションである「県民の幸福度向上」を実現させるため、群馬県が推進する施策・事業に広く活用させていただきました。



ビジョンが目指す

2040年の群馬県の姿

ビジョンは、2040年までの群馬県を取り巻くさまざまな環境の変化を見通した上で、県民の幸福度の向上に向けた「目指す姿」と「実現へのロードマップ」をバックキャスト思考で描いたものです。

● 目指す姿

年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会

● 計画期間

2021年～2040年(20年間) ※計画期間中も、常に時代の大きな変化を捉え取り変革に対応する。

